

原子力新長期計画策定に望むこと

(社)全国消費生活相談員協会監事

油田淑子

消費者の視点から望むこと

1. 計画全般について

分かりやすい計画であること

消費者の意見が反映されていること

2. 計画の内容について

安全性を重視した計画であること

人間に対する安全性だけでなく、地球環境全体に対する安全性を視野に入れて欲しい。

・そのためには、事業者においては、より一層コンプライアンス経営をすすめること。

・また、国にあっては縦割りの弊害をなくして、情報がスムーズに流れ、それを専門家だけでなく一般消費者に提供できる体制を整えることを盛り込んで欲しい。

・事故や災害を想定した対策も盛り込まれていること。

・更に、資源の乏しいわが国のエネルギー安全確保という視点から原子力の位置付けを十分消費者が理解できるような記述であって欲しい。

経済性が十分検討された計画であること

特に、核燃料サイクル事業における、コスト試算について十分精度の高いものとする。また、他の選択肢とのコストを総合的に比較して、分かりやすく明記されていること。

長期計画とはいえ、国際的な情勢、社会の変化にしたがって常に見直しを図ることができるような計画であって欲しい。

原子力エネルギー関連施設の立地のあたって、地域の長期的発展を確保するような視点を盛り込んで欲しい。